

## 津波避難場所 長島防災高台

### 【現在の施工状況】



【撮影 令和3年1月31日】

### 1 整備の目的

南海トラフ地震では、佐伯市街地に位置する葛港に押し寄せる最大津波高が7.4mで、+（プラス）1mの津波の到達時間は、地震発生後46分と想定されています。また、佐伯市街地は海抜が低く、ほぼ、全域が浸水想定区域となっていることから、津波到達までに津波避難ビル等に避難できない地域住民が緊急に避難することができる緊急避難場所として、平成28年度（2016年度）から整備を進めてきた津波避難場所「長島防災高台」が本年3月に完成します。避難スペースとなる頂上部分には災害用トイレや防災シェルター、備品倉庫、常設トイレなども備え、佐伯校区・渡町台校区の一部住民の2,660人の避難を想定しています。

### 2 概要

- (1) 高台名称 : 津波避難場所 長島防災高台
- (2) 整備場所 : 佐伯市長島町4丁目6638番1 (図1参照)
- (3) 敷地面積 : 6,958.87m<sup>2</sup>
- (4) 構造 : 盛土形式
- (5) 避難スペース面積 : 2,660m<sup>2</sup>
- (6) 避難対象地区 : 中川区・塩屋区・中の島区・長島区・新女島区の一部
- (7) 避難収容人員 : 2,660人 (一人/1m<sup>2</sup>)

(裏面へ)

(8) 避難スペースの高さ

① 現況地盤高さ+(プラス)

浸水想定 (3.4~4.4m) + 余裕高(3.0m)

避難スペース高さ : 現道路地盤高 + 6.4~7.4m

② 海拔

6.0m + 3.0m(地盤高) = 9.0m

(9) 進入路

階 段 : 5箇所(幅員6.0m)

スロープ : 1箇所(幅員4.0m)

(10) 付帯施設

- ・防災対応シェルター 2基
- ・災害用マンホールトイレ(車いす対応型含む) 28基
- ・かまどベンチ 2基
- ・充電スタンド付ソーラー照明灯 2基
- ・公共無線LANアンテナ 1基
- ・常設トイレ 1基

(11) 事業費

総事業費		約9億5,000万円
① 財源内訳	・防災・安全交付金	約5億9,300万円
	・起債(合併特例債)	約3億3,900万円
	・一般財源	約 1,800万円

図1: 設置場所

